

一般社団法人まなびのみなと事業報告(第6期 2024年4月-2025年3月)

	事業分類	事業名	事業報告	担当者	協力団体	参考URL(blogなど)
1	まなびの船頭になる	島チャレ	今回も小学生から50代まで幅広い年齢層の参加者が23名。全7回の講座を開催。島チャレフェスを通じて交流を生じ、島を語る場を創出。多様な個性を活かしてやりたいたいことをはじめる第一歩として23プロジェクトが立ち上がりました。構想から実践、地域に定着まで幅広い活動となりました。ゲスト講師2名(有限会社尾屋電機工業所の尾屋さん・ミカタカフェ唐澤さん)、OBOGゲスト2名(土井さん・鈴木さん)	円光	有限会社尾屋電機工業所 ミカタカフェ Shiki Farm	
2	まなびの船頭になる	高校生マイプロジェクト広島	・2/2に高校生マイプロジェクトアワード広島県Summitを開催。73名・36プロジェクトの高校生が参加し、引率・観覧として参加した78名も含め学びの場を創出した。社会人サポーターや大学生ファシリテーターなどスタッフ70名体制で運営を行った。 ・学びの祭典である広島県Summit(上記)を集大成として、その前後で年間を通して4回の高校生プログラムを実施。 ①スタートアッププログラム@尾道(高校生10名・大学生4名参加) ②ブラッシュアップ発表会@大崎上島(高校生11名参加) ③広えるデザイン・ワークショップ@オンライン(高校生2名参加) ④マイプロジェクト広島「つづき」Summit@都賀大学(高校生9名・大学生3名参加)	勝瀬	認定NPO法人カタリバ 株式会社サレド新広島 広島大学スタートアップ推進部門 株式会社良和ハウス JIA大分連広島 公益財団法人マツダ財団 広島県 広島県教育委員会 広島市教育委員会 マイクロナメロロジー株式会社 安田女子中等高等学校	https://manabinominalo.or.jp/ 広島県内最大級！高校生の学びの祭典を実施し
3	まなびの船頭になる	食を通じたまちづくり事業	①町内の小学生を対象に、生産現場へ出かけ地域と食材と出会い、学ぶことができる体験型プログラムを計2回実施。参加者は約144人。 ②大崎上島町食のフォーラムを開催、44名が参加し、生産者・事業者・教育関係者・行政・学生と多様な立場の町民が交わる機会となった。 ③町外の小学生・大人に向けた食の体験プログラムを2回実施。	神田	大崎上島町 徳島県神井町・NPO法人まちの食農教育	https://www.instagram.com/tabe_machiosakikamijima?igsh=MVWlaDlyc2hmNtGd6dg%3D%3D&utm_source=qr
4	まなびの船頭になる	大崎海星高等学校魅力化コーディネーター事業	大崎海星高等学校魅力化プロジェクトがはじまって、最も高い地元中学校からの進学率74.1%という結果につながった。全国から地味な学校に入学を募集し、10名の入学生(地域校留學生含む)と下宿生3名が入学。第8回INITIS大会で「10WEEK」と題したカリマネ～教科を教く、大人の探究～」が優秀賞を受賞。教科横断授業を学校全体で取り組むをはじめて3年目となり、進んでいる方向に換算しをもった。高校生が地域を飛び出す越境体験に取り組んだ人数は40名を超えるなど多様な挑戦する機会の提供が実現している。	円光	広島県立大崎海星高等学校	
5	人が行き交う 航路をつくる	ミカタカフェ	”誰もが誰かのミカタになる場所”をコンセプトにカフェ併設型のコミュニティスペースを運営、年間訪問者は7000人を超えた。また、大崎海星高等学校・広島商船高等から約10名のカフエスタッフがアルバイトとして運営に参画し、学びの場づくりを体験している。広島県哲学園高校生徒の運営する学生任意団体の活動拠点にもなるなど、学校・年齢を超えた出会いと挑戦の場にもなっている。	勝瀬	公益財団法人日本財団 大崎上島町	https://www.instagram.com/mikatacafe0912/
6	人が行き交う 航路をつくる	SCHシンポジウム西日本	高校・行政・民間などのセクターを越えたネットワークを形成することを目的としたイベントとして、昨年度は、10/19・20に実施した。ゲストに株式会社イノマの中山副社長、三次市教育委員会次長豊田佐喜氏、NPO法人カワソー北澤吉太郎氏を招き、基調講演、パネルディスカッション、分科会を行った。参加者は合計208名である。(参加者57名、ゲスト3名、スタッフ26名)交流によって、高校生と大人の相互に数値ある学びが生まれた。	笠井	広島県立大崎海星高等学校 大崎上島町	https://manabinominalo.or.jp/%e3%80%90%e9%96%8b%e5%82%ac%e5%a0%b1%e5%91%8a%e3%80%91%e7%ac%a6%7e%e5%90%8e%e7%e3%82%b7%e3%83%b3%e3%83%b7%e3%82%a8%e3%82%a0%e3%83%a0%e5%b7%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%83%ac%e3%83%9d%e3%83%bc%e3%83%88/
7	人が行き交う 航路をつくる	絵本図書館ひみつち	おしゃべりできる親子向けの憩いの場、絵本図書館ひみつち。子育て世代のお父さんやお母さんとその子どもたちの居場所。絵本を中心におしゃべりや室内遊具も置いてあり、だれでも無料で自由に遊ぶことができる空間を提供している。令和5年度5月から2年間で利用者が1000名を超えた。3月には子ども夢基金の支援も受けて、「ほくらがアート」や離島初のプロの画家による絵画体験教室を開催し、プロの画家とアートを体験し、外壁を子どもたちに彩った。	取釜・牧内	子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)	https://manabinominalo.or.jp/%E3%81%AA%E3%81%9C%E8%A1%97%E8%A7%92%E3%81%A6%E3%80%8C%E3%81%B2%E3%81%B3%E3%81%A4%E3%81%B0%E3%81%A6%E3%80%8D%E3%81%B2%E3%81%A7%E3%81%9F%E3%81%B8/
8	人が行き交う 航路をつくる	オンライン仕事図鑑	①地域越境プログラム「みら旅Jin 大崎上島の開催 2024年7月29日～31日開催。島外から生徒8名、教員1名が参加した。 大崎海星高等学校生徒2名が中心となって3日間のプログラムを作成した。 ②仕事図鑑のオンライン版制作 生徒21名、メンター＆コーディネーター12名が参加した。 オンライン仕事図鑑作成に向けたフレームワークの作成などの準備、7月中旬～9月中旬にかけて全5回の授業の実施、その後オンライン仕事図鑑完成に向けてフォローアップを行った。	高橋	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム	・地域みらいキャリア2024仕事図鑑前編 https://mrri-highschool.jp/magazine/20241128/ ・地域みらいキャリア2024仕事図鑑後編 https://mrri-highschool.jp/magazine/20241202/
9	明かりを灯し 港をつくる	大学生おためしぐらし	春・夏の長期休暇に分けて応募をかけ、合計11名の大学生が大崎上島町内に長期滞在し、社会人と学生と交流しながら離島暮らしを体験した。(参加大学生の所属校)東京学芸大学、早稲田大学、中央大学、宇都宮大学、大正大学、近畿大学、京都大学、名古屋学院大学、長岡造形大学	勝瀬		https://manabinominalo.or.jp/ 【募集開始】大学生おためしぐらし(2025春)！
10	明かりを灯し 港をつくる	教育旅行受け入れ	新渡戸文化高等学校より4名の研修旅行生を受け入れ。 地域を巡る3泊4日のフィールドワークを実施。 研修旅行後も県内に帰った後も島の魅力を伝えるために活動を2回実施につながった。 早稲田大学教育学部社会総合学舎を2泊3日で受け入れ実施。	円光	新渡戸文化高等学校 早稲田大学教育学部	
11	明かりを灯し 港をつくる	清走中・大崎上島編	5月11日(土)に実施を予定していたが、当日荒天のため催行中止となった。	勝瀬	株式会社Gab 大崎内浦漁協協同組合 大崎上島町	
12	明かりを灯し 港をつくる	親子ワークショップ	大崎上島町の委託事業として、7月29日(月)～8月2日(金)に親子ワークショップ企画を実施。関東、東海、九州、そして中国四国エリアから家族23名の親子が参加。保護者がコア・キング施設で作業をしている間に、子どもたちは島ならではのアクティビティや大崎海星高等学校の有志生徒が企画した様々なイベントに参加しながら島暮らしを体験した。全体の企画・設計・広報は株式会社ソフィアと協働し行った。	勝瀬	大崎上島町 株式会社ソフィア	https://manabinominalo.or.jp/ 【親子ワークショップ】親子でおためし離島暮らし
13	その他	マイスター・ハイスクール事業	文部科学省の専門高校改革事業。文部科学省指定校の高校への伴走及びアドバイザー業務と通し、専門高校の改革及び産業界の改革を行った。	取釜	株式会社ソフィア	
14	その他	まなびのみなと夢基金	町内の高校生1名の活動に対し、資金面の支援を実施。「ソーシャルデザイン」という活動名で地域の学生～大人を繋ぐ場づくりがTAKEMOTO.CURRY(KARI)を会場に行われた。	神田		